

秋季塗料講演会

「塗料、塗装における環境対応技術の最新動向」

昨年までの5年間、10月には塗装と塗膜の欠陥対策にフォーカスした欠陥対策講座を開催しておりましたが、本年はより多くの皆様にご満足いただける内容を提供するため、講演会のテーマを変更することをお知らせいたします。本年は秋季塗料講演会として「塗料、塗装における環境対応技術の最新動向」をテーマとして講演会を開催致します。地球環境は、日々の活動や産業の発展によって大きな影響を受けており、我々の未来を守るためには、環境対策が不可欠となっています。今回は環境対策のみならず、製品の高付加価値化との両立を実現する技術について、多くの知見やインスピレーションを得ることができる内容となっております。本講演会は技術系の方々だけでなく、塗料・塗装に興味がある全ての方々にも有用な内容となっております。今年の秋季塗料講演会が皆様にとって有意義な時間となるよう、準備を進めてまいりますのでぜひご参加を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

主催 一般社団法人色材協会 関東支部 塗料部会

協賛 (予定) 日本塗料工業会、関東塗料工業組合、東京塗料商業協同組合、日本塗料検査協会、応用物理学会、高分子学会、日本化学会、日本油化学会、日本防錆技術協会、表面技術協会、腐食防食学会、有機合成化学協会、自動車技術会、日本金属学会、日本ゴム協会、日本鉄鋼協会、化学工学会、材料技術研究協会、日本塗装技術協会、日本木材学会、日本顔料技術協会、日本建築工学会、日本塗装工業会、日本工業塗装協同組合連合会

日時 2024年10月18日(金) 9:45~16:50

会場 東京都中央区日本橋三丁目7番20号 ディーアイシービル2F会議室

東京メトロ 銀座線・東西線、都営浅草線 日本橋駅から徒歩約2分、JR 東京駅から徒歩約5分

受講料 会員20,000円、会員外33,000円(テキスト、消費税込)

*テキストは事前に送付いたします。

*お申込み時に色材協会に入会されれば会員扱いになります。[正会員(個人名義)年会費9,800円]

*協賛学協会会員の方は会員扱いとなります。所属学協会名、会員No.を明記してお申し込みください。

申込締切 定員会場(100名)になり次第締め切らせていただきます。お早目にお申し込みください。

*事前のテキスト送付の都合上10月8日(火)までにお申し込みください。

申込方法 色材協会ホームページ(<https://shikizai.org/>)の当講座の申込フォームからお申込頂くか、申込書に所定事項を明記の上、メールにてお送りください。

受講料は①郵便振替②銀行振込のいずれかで講座前日までにお振込みください。

(郵便振替口座:00120-7-76423 銀行口座:三菱UFJ銀行恵比寿支店 普通預金 No.1547898(社)色材協会)

申込先 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿3-12-8 東京塗料会館201号

(社)色材協会 TEL03-3443-2811 FAX03-3443-3699 E-mail:admin@jscm.or.jp

参加ポリシー 受講者は、講座内容の保存(画面キャプチャ含む)、動画・音声の録画・録音を禁止といたします。

秋季塗料講演会 申込書

2024年 月 日

受付No. _____

氏名 _____

所属学協会名 _____

会員No. _____

勤務先 _____

所属部課名 _____

所在地 〒 _____

TEL: _____

E-mail: _____

※該当事項にチェックを入れてください。

受講料 会員 ¥20,000

払込方法 (お申込み書到着後、請求書を送付いたします)

会員外 ¥33,000

郵便振替 (月 日払込予定)

銀行振込 (月 日払込予定)

今後開催される色材協会主催の講座についてE-mailでの案内を希望しますか。(希望する ・ 希望しない)

※申込書に記入いただいた個人情報は色材協会事務局にて厳重に管理いたします。

秋季塗料講演会「塗料、塗装における環境対応技術の最新動向」

— 演 題 と 講 師 —

9:45～9:50 【 オープニング 】

9:50～10:40 1) **カーボンリサイクル技術開発に関する国内外の動向**

一般財団法人エネルギー総合工学研究所 橋崎克雄
カーボンリサイクルとは、化石燃料を起源として排出されるCO₂を分離・回収し、燃料や、化学品の原材料などに転換して再利用しようとする概念であり、脱炭素技術の一つとして国内外で積極的にその技術開発が進められている。本講演では、その開発のトレンドと課題について解説する。

10:50～11:40 2) **水性塗料の技術動向と環境対応への今後の課題**

関西ペイント株式会社 西澤安明
環境配慮型塗料として、水性塗料は分野を問わず世界的に導入されつつある。一方、CO₂排出量削減の観点から、塗装の省工程システムも進化・拡大している。本講演では、自動車塗料、自動車補修塗料を中心に水性塗料、省工程システムの具体例について解説する。

12:50～13:40 3) **ナノ銀粒子を用いた新鏡面意匠発現技術およびその応用について**

株式会社フェクト 大江舞
塗装における金属調表現のニーズは多く存在しているが、メッキや蒸着以外に普及しているものが少ないというのが現状である。本研究では超音波還元法を利用し合成したナノ銀粒子を用いた塗装による鏡面意匠発現技術および応用展開について報告する。

13:50～14:40 4) **工業用途におけるインクジェットの現状と将来展望について**

株式会社トライテック 高橋一義
年賀状などの家庭用途、大量ドキュメント印刷のオフィス用途、広告宣伝用の大判印刷、グラフィックなど従来方式の置換えなどインクジェット技術は用途を広げつつあり、本講演では工業用途について説明させていただきます。

14:50～15:40 5) **剥がせるボディーカラーの開発**

トヨタ自動車株式会社 田中隼紀
通常、自動車塗装は簡単に色替えができないため、本当に欲しい色を選びにくい。お客様が気軽に車両の色を変えることができる開発中の商品“剥がせるボディーカラー”について紹介する。

15:50～16:40 6) **環境に貢献するEB照射技術**

株式会社NHVコーポレーション 岡崎泰三
電子線はそのエネルギーの高さから色々な高分子材料の改良に使用されている。電子線の特徴は電子が核外電子に直接的に作用し、反応を起こすことにある。本講演では電子線の発生原理、照射条件や照射時の現象を説明し、環境に貢献すると言われている理由を紹介する。

16:40～16:50 【 アンケート記入・閉会挨拶 】